

2007年10月19日

広島市長 様

米軍岩国基地海兵隊員による集団女性暴行事件
についての申し入れ

日本共産党広島市会議員団

団長 皆川恵史

本日、米軍岩国基地に所属する海兵隊員4人が、今年14日午前3時すぎ、広島市内で20代の日本人女性に集団で乱暴したことがわかり、県警では、集団女性暴行事件として捜査していると報道されました。在日米軍基地周辺でのたび重なる米兵の犯罪に、国民は強い怒りをもつとともに、自分の町を自由に歩くこともできないという不安を強くしています。今回平和都市広島の繁華街でも、このような米兵による犯罪が起こったことは、平和を願う、県民、市民の名において絶対に許せません。

日本共産党は、米軍に強く抗議するとともに、平穏な市民生活を守る立場から、広島市として敏速で責任ある対処を行うよう以下の点を強く要請します。

記

1、広島市長として、米軍に強く抗議するとともに、今回の事件の真相解明及び再発防止を求めること。

1、「広島市民の平穏な生活に与える影響が大」（05年7月6日広島市議会意見書）である米軍岩国基地の増強計画に対し、あらためて反対の意思を表明し、そのために周辺自治体との連携を一層強めること。